

標 題 平成 24 年度 学校における授業改善の取組[まとめ]

学 校 名 天童市立長岡小学校

校 内 研 究 テ ー マ 学び合いを通して、自他のよさに気づき豊かな生活を創り出す子ども(学級活動)

### 1 研究主題について

私たち教師自身の指導をふり返し、反省点を次のようにまとめ、研究主題を設定しました。

- (1) 結果の善し悪しを重視して、教師の計画に子どもを合わせる指導をしてきたのではないか。
- (2) 授業において、その子なりの思考・判断・表現を生かす場の設定が足りなかったのではないか。
- (3) 授業と生活を密接に結び付けようとしていたか。授業をすることで、生活が変容することを意識してきたか。

### 2 研究の具体的な視点

よりよい学級経営・学年経営を核としながら、次の3点を具体的な視点としました。

**視点1**：<生活から立ち上げる議題提案>

日常生活の中から議題を表出させる工夫や教科・道徳等の連携を図ること。

**視点2**：<相手意識や目的意識を大切に話合い活動>

自己決定・集団決定(折り合い=合意形成)の工夫を図ること。

**視点3**：<よい自分・集団への高まり>

ふり返りの工夫や方法、価値づけ・勇気づけ(次回への意欲の高め方)を大切にすること。

### 3 これまでの実践より学んだこと

#### <低学年> 1年2組「にこにこ1の2集会をしよう」

学級として初めての集会活動は、転校する友だちとの最後の集会でもありました。転校するK君のために、一人一人がプレゼントを準備し、お別れの言葉を伝えるプログラムを考えました。どの子の思いも担任が受け止め、みんなのK君を思うやさしさが伝わる温かな集会となりました。やってよかった学級活動は楽しいという実感、相手を大切にすることを学んだことを、低学年から積み上げることの大切さを学びました。

#### <中学年> 4年1組「会社活動や係活動をバージョンアップしよう」

係の仕事に加えて、内容を自由に考えられる会社活動の困りごとについて話し合いました。銀行会社の両替の悩みに質問を繰り返し、困りごとをわかろうとする子どもたちに感心しました。子どもたちにとって必要な活動の時間となるよう、授業のねらいをしぼり、指導過程を「ぼくらの時間(子どもが学ぶ道すじ)」と考え計画することの大切さを学びました。

#### <高学年> 5年1組「全員遊びをふり返し、みんなが楽しめるように考えよう」

全員遊びで楽しんだ鬼ごっこをふり返し、改善していくことを話し合いました。足が遅い子にわざとつかまったことは、優しい行為かルール違反か考えがぶつかりました。話合いを通して、答えが出ないことや考え方の違いなどを受け入れていったA子の姿に、自分の考えを言葉にして、伝え合おうと努力することの大切さを学びました。

### 4 来年度に向けて

今年度より特別活動(主として学級活動)を研究の柱にし、実践を積み上げてきました。子どもたちの生活全般を網羅する特別活動の大切さに改めて気づいたところです。

(1) 教師が笑顔で共感的に子どもの話を聴くこと

(2) 議題は、子どもの生活から立ち上げること

(3) 子どもが判断し、自己決定することを大切にすること

(4) 話合い活動や実践をやってよかったという満足感を積み上げていくこと

(5) 学校の教育活動すべてにおいて、子どもの育ちを意識した活動とすること

上記の点は、すべて言語活動を充実していく必要性とつながります。来年度に向けて、特別活動だけでなく、各教科等を含め「言語活動」を大事にしていきたいと思っております。(研究主任：鈴木伸治)